

■東条英機 陸軍軍人，政治家。<日米開戦>を強行，ファシズム体制を完成させたが，<敗戦>でA級戦犯となり死刑。
とうじょうひでき
秩父事件・・・1884＝ 東京府麴町区で，明治期陸軍の戦略家として知られる陸軍中将東條英教の三男に生まれ，長男と次男はすでに他界していたため，長男として扱われる。祖先は安房長狭郡東條郷の土豪で，江戸時代に宝生流ワキ方の能楽師となり，北上して盛岡藩に仕えた家系で，父は，陸大の一期生を首席で卒業したが，出世が遅れ，大将になれなかったことを，長州閥に睨まれたことが原因と終生考えていたという。

帝国憲法発布1889＝ 5歳：

郡司千島探検1893＝ 9歳：
日清戦争始・ 1894＝10歳：

教科書疑獄・ 1902＝18歳：

日露戦争終・ 1905＝21歳： 陸軍士官学校第17期を卒業し，歩兵少尉に任官。

大逆事件判決1911＝27歳：
明治天皇没・ 1912＝28歳：

21ヶ条要求・ 1915＝31歳： 陸軍大学校卒業，
スイス，ドイツに駐在し，

大暴落・・・ 1920＝36歳：
原敬首相暗殺1921＝37歳：

陸大教官などを経て，

共産党事件・ 1928＝44歳： 陸軍省整備局の初代動員課長として総力戦の準備を推進した。
世界恐慌・ 1929＝45歳：

満州事変・・・ 1931＝47歳： 参謀本部編制動員課長として<満州事変>に際し，
陸軍省軍事調査部長などを歴任し，永田鉄山らとともに統制派の中心人物となった。

国際連盟脱退1933＝49歳： 陸軍少将，

芥川直木賞始1935＝51歳： 関東軍憲兵隊司令官になったところに，
二二六事件・ 1936＝52歳： 本土で，*二・二六事件が起きるや，皇道派を拘束することを口実に，反満抗日運動を徹底的に弾圧して，高く評価され，中將に昇進し，以後，飛躍的に出世して行く。

日中戦争始・ 1937＝53歳： 関東軍参謀長となり，<日中戦争始>に際して拡大論を主張，内蒙古に出動した。
健保+総動員 1938＝54歳： *近衛内閣改造で，陸軍大臣板垣征四郎の下，陸軍次官となると，陸軍航空本部長も併任，関東軍憲兵隊の子飼いの者を要職につけ，何事も細かく記録する能吏ぶりを発揮して"かみそり東条"といわれ，

第二次大戦始1939＝55歳： 内部対立で，新設の陸軍航空総監に外れるも，
大政翼賛会・ 1940＝56歳： 近衛秀麿から要請されて，第2次近衛内閣の陸相に就任，アメリカからの撤兵要求を拒否し，
日米開戦・・・ 1941＝57歳： この頃，知人から贈られたシャム猫を飼い始め，以後，非常に猫好きになる。*第3次近衛内閣にも留任したが，アメリカの対日石油輸出禁止策に，日独伊三国同盟締結と対米英開戦を主張して，近衛首相と対立，内閣総辞職に追い込む。重臣会議での，木戸幸一の提案によって，組閣の命を受けることになり，首相兼陸相就任と同時に大将昇進。昭和天皇の命で，日米開戦の回避を図るべく，外相に東郷茂徳を起用したりするが，陸軍大臣の立場もあって徹底せず，結局，開戦強行に至る。その後，内相，軍需相，

年金+総武装 1944＝60歳： *参謀総長等を兼任，戦局が悪化するなか，憲兵隊部下だった長州人加藤泊治郎らを重用して，国民の不満を弾圧するなど，"東条独裁"と呼ばれるファシズム体制を完成させたが，その実態は，何事も自分でしなければ済まず，しかも，官僚的体質から，それぞれの役ごとに対応して統合できず，ついに総辞職。

敗戦・・・ 1945＝61歳： 敗戦後，ピストル自殺未遂。極東国際軍事裁判でA級戦犯として死刑判決を受け，
新憲法施行・ 1947＝63歳：
極東裁判決・ 1948＝64歳： 処刑された。

能吏ではあったが，国家を支配するほどの器ではなかったといえるが，戦争を支持した国民は，敗戦後，彼に矛盾と責任の全てを負わせることで，免罪符にしてしまったともいえよう。

「日本史を変えた人物200人」，「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，「日本の群像」，平凡社百科事典，山田風太郎「人間臨終図巻」，「目でみる日本人物百科」。NHK「英雄の選択」で追捕，